

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県馬術競技場
- 2 指定管理者名：福岡県馬術連盟
- 3 指定期間：平成29年4月1日～令和4年3月31日
- 4 施設設置目的：県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
  - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2)点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<p>○県、地元自治体及び関係団体と連携し、県内の馬術の中核施設として、県民に対する施設提供や各種大会の開催等を行うなど、馬術競技の普及振興と競技力向上を目指した管理運営を行う。</p> <p>○県、地元古賀市と定期的に運営協議会を開催するとともに、地域のイベント等に積極的に協力する。</p> <p>○県と共同によりホースセラピー事業を実施する等、馬を効果的に活用した県民に貢献できる事業を積極的に推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第61回福岡県民体育大会兼第57回福岡県馬術選手権大会及び第54回九州馬術大会を実施するとともに、一般県民の乗馬の機会を提供するなど、本県の馬術競技の普及振興及び競技力向上が図られた。また、韓国や中国との馬術交流を催し、国際交流に大いに寄与した。</li> <li>・馬術競技力向上のために選手育成や指導者講習会を行うなど、乗馬を通じたスポーツ活動の場を提供した。</li> <li>・乗馬に対する相談等に適切に対応している。</li> <li>・障がいをもつ子供たちの社会適応能力向上を目的とした馬との触れ合い事業を展開した。 (平成30年度 参加児童 延べ376名)</li> <li>・障がいのある方への支援を目的としたスペシャルリハビリ日本・福岡のコーチクリニックを開催した。 (参加者数 延べ21名)</li> <li>・高齢者や障がいのある方が安心して乗馬できるように、乗馬台を準備したり、サポート人数を強化して行っている。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<p>○馬術大会の効率的な運営や県民が安心して楽しく利用できる施設提供業務に努める。</p> <p>○県民の馬術に対するニーズに応じて、トップ選手育成から乗馬愛好家の育成、乗馬を通じた健康保持増進などに貢献できるように、利用しやすい施設提供を目指す。</p> <p>○県馬術場ホームページをより効果的に活用できるよう努めるとともにリーフレット等の配布やマスコミ等への積極的情報提供を行うなど、広報活動に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度利用者数6,805人(前年度比98.9%、29年度6,884人)</li> <li>・九州規模の馬術大会等を積極的に開催した他、全国展開事業の講習会や馬術連盟主催事業の定期的な開催を行う等、馬術場の利用促進を図った。</li> <li>・指導者及びジュニア育成の講習会、研修会等を計画的に開催し、競技人口拡大と利用促進に努めた。</li> <li>・若年選手層の育成を図るため、高等学校乗馬部の活動を支援した。(平成30年度部活動者数 延べ1,613人)</li> <li>・馬とのふれあい体験の実施や中学生職場体験の受け入れ、利用閑散期における地域の祭りへのイベント参加等、子どもを含めた利用者層の拡大や競技人口拡大を図った。(平成30年度参加者数 延べ250人)</li> <li>・利用団体との事前調整を行うことで、大会開催時に適切な職員体制をとり、利用者の利便性を図った。</li> </ul>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<p>○利用者への良質なサービス提供を維持しながら、節電、節水等、光熱水費の削減に努める。</p> <p>○利用者増による利用料金収入の安定的確保とともに管理経費節減に努める。</p>	<p>・利用料金収入：目標額2,700千円 実績額2,861千円（対前年度比 93.7%、29年度3,053千円）</p> <p>・指定管理料：16,152千円（対前年度比同額）</p> <p>・馬術大会、指導者講習会開催の促進、体験乗馬による利用者の拡充、馬術大会以外の施設利用促進に努めた。</p> <p>・嘱託職員等の活用により、人件費抑制を図った。 （嘱託員：1名、臨時職員1名配置 非常勤等の割合 100%）</p> <p>・きめ細かな管理運営や井戸水の活用等により光熱水費等のコスト削減に努めているが、夏場の猛暑による冷房使用の増加により電気使用料が増加した。また、給水管の老朽化が原因である漏水等により、水道使用料も増加した。 （電気使用料 対前年度比111.1%、水道使用料 対前年度比120.4%）</p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<p>○適切な管理運営を行うために、場長と臨時職員を雇用する。</p>	<p>・指定管理運営の場長：1名（常勤嘱託）、臨時職員：1名</p> <p>・県馬術連盟事務局職員、厩務員との連携により効率的な利用者サービスが図られた。</p>
⑤施設管理上の個別事項	<p>○利用者に対し、安全なスポーツ活動等の実施を適切に指導できる体制を整備するとともに、事故発生時に適切に対応できる救急体制を整備する。</p> <p>○馬術に関する専門家を中心に、乗馬時の安全サポート体制を整備する。</p>	<p>・利用者に対し、安全なスポーツ活動等の実施を適切に指導できる体制を整備するとともに、災害や事故発生時に適切に対応できる救急体制を整備している。</p> <p>・施設の防火管理や電気保安業務等について専門業者に委託することにより、法定点検を確実に実施し、施設設備の安全管理を行っている。また、馬がいることから夜間警備員を配置している。</p>

## ②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>・九州規模の馬術大会や全国展開事業の講習会及び馬術連盟主催事業を開催するなど、利用者数及び利用料金収入の増加に努めている。今後も継続して大会誘致に積極的に取り組むと同時に、日常的に馬術競技場が練習場所として活用されるよう、関係団体等への広報や馬術競技人口増加に向けた選手育成に努めることが望まれる。</p> <p>・韓国や中国の乗馬クラブ等と馬術交流の誘致など、国際交流の促進のために施設を有効に活用している。</p>
---	--